

*****中学校*年生 保健体育 学習指導案*****

1 授業の位置づけ

保健体育（傷害の防止 イ 応急手当）の一環で行う。本時の効果測定は、事前事後のアンケートとテストで、心の育み・態度と理解度を分析する。

2 実施日

平成**年**月**日（*）第*、*校時（*年*組**級**名 男子**名、女子**名）

3 主題名 「命の教育」～心肺蘇生法トレーニング（ミニアンコース）～

資料名 「大切な命を助けるために」～私たちにできること～

（製作：国士舘大学大学院救急システムコース）

テキスト（*****）

4 指導の目的

以前なら、子どもが自然に育つ場が社会で成り立っていた。躰や社会的ルールの問題は、親や地域がすべきことだったのに、今は学校で教えなければならない。大人の側が、一番大切なものは何か伝える熱意が必要である。そういう信頼感の中でこそ、道徳を伝えることが可能になる。従って、学校（教職員）、学校外（保護者）との情報連携は今の時代とても大事である。更に、教育的価値を共有化し、指導内容を連携させることが、生徒の心の育みに繋がることと思料する。

5 主題設定の背景

（1）中学生における、

（2）警察白書

（3）企業では、初期の段階では、経済学、法律学、会計学の知識が試される。しかし、重要な仕事に就くようになると、心の問題が重要となる。人の気持ちが分かるか、自分の気持ちをどう伝えるか、どう行動するかを体得していかなければならない。よって、相手の気持ちを考え行動できる力を育てたい。

（4）心は、その人の体験や経験によって生まれ、成長すると考える。より効果的に体得するためには、他人の経験やイマジネーションを取り入れ補なければならない。しかしながら、時代の変貌（近代化・都市化、核家族化、地域社会の持続的成長の難しさ等）により、子どもたちが「死」を直面する機会が減り、かつ数多くの大人との関わりが少なくなり知識として学ぶ場さえ減ってきた。

6 主題設定の理由

最近の子どもたちは、社会的な生命軽視の風潮と相まって、「生命というものが、他のなにものによっても代えることができない尊いものである」という自覚が十分でない。更に、大人社会においては、規律を守ろうとする風土が欠落し、また社会の緊張間が（ストレスのはけ口かのように）直接的に子どもや高齢者にむけられている。（犯罪で例えるならば、児童連れ去り事件やオレオレ詐欺事件） 現在、緊急課題である「①自殺、

②いじめ（少年犯罪、加害者）、③自分の身は自分で守る（連れ去り事件等の被害者）」の対策は、全て心の育みによるものが大きく、その根幹は「命の尊さ」の心である。

7 本授業の狙い

（1）人間学の成就

かけがえのない命の尊さを自覚し、人間として誇りを持って生きようとする意欲を高める。

（2）人権教育の視点

人（友達）との関わりを見つめ直し、個性や違いを認め合い、互いに尊重し合う態度を身に付ける。

（3）救命の連鎖の理解

救命の連鎖における、『早期通報』、『早期 CPR』、『早期除細動』の概念とその根拠を理解する。

8 本授業の留意点

（1）中学生は体格がまちまちであり、全員がしっかりとした胸骨圧迫が出来ないため、心肺蘇生法の手技の正確性よりも、心肺蘇生法を学ぶことによる倫理観、人の命を大切にする思いやりの気持ちを育てる。

（2）出来過ぎて、頭でっかちにならないか気がかりである。優等生的・模範的な意見を引き出すのではなく、心情的に納得でき、実感を持ってとらえられる行動につながる授業にしたい。そのためには、「振り返りの場面のある追体験」や「体験を想起できる」授業作りが必要である。更に、子ども達が萎縮することなく、楽しい授業作りに努めたい。

（3）本授業の狙いはあるものの、無理に誘導・結論付けるのではなく、今の中学生の実態・理解度を把握するとともに、その後の教育（学校、家庭）に生かしたい。

（4）宗教や職業倫理を加えるのではなく、人間学（命の尊さ）を身に付けることが主眼である。

9 本授業の指導方針

心肺蘇生法と障害の防止を含めて、45分の授業2コマを用いて、実技を含めて実施する。指導のポイントは、応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止することができることとする。詳細は、別紙「命の共教育」～心肺蘇生法トレーニング（ミニアンコース）～を参照。

～1時限目～

（1）導入段階では、事前アンケートを実施し、授業前の『命の大切さ』に関する意識調査を行う

（2）展開1では、DVD または漫画を視聴させる。DVD の内容として、蘇生できた場合、出来なかった場合がのっている。その違いについて考えさせる。

（3）展開2では、DVD または漫画をもとにディスカッションをさせる。蘇生に繋がったポイントや重要な点を復習し、確認する。

～2時限目～

（1）展開1 BLS 実技トレーニング

DVD を使用して全員同時に実施訓練人形はミニアンを使用し、生徒1人に対して1体持たせる。

（2）AED トレーニング

ペーパーAED を使用して実施、又は10人に1台程度のAED を用意する。特にAED は危険事項等をしっかり指導する。

（3）評価

ミニアンは、胸部クリック音で胸骨圧迫の深さ・リズムを確認

AED が正しく使用できることを確認

生徒がお互いにチェックしあってもよい（この場合、簡単なチェック表を配布する）

1 0 教材について（補足説明）

- (1) 「命の教育」（命の教育の漫画）
- (2) 止血等の応急処置を DVD・ビデオ
- (3) テキスト（ ）

1 1 依頼事項（最終確認を 月 日 : に連絡します。）

(1) 実施日について

ア 月 日（月）或いは （ ）で行いたく、ご検討をお願いします。

イ 本学習指導案の精緻化が必要なため、まず 年 組で実施し、評価・改善点を指摘頂いた後、改版した指導案をもとに 年 組の日程（ 月度）を調整させてください。

(2) 事前学習について

(3) 名札について

スムーズに授業を進めるために、名札の携行をお願いします。

(4) グループ（班）分けとグループリーダーの選定について

事前に4名（或いは5名）で6グループ（1～6）わけを行って下さい。また、グループリーダーは、比較的生活面で安定している生徒、積極的な生徒の選出をお願いいたします。

(5) 教材の用意について

ア 配布教材の準備をお願いします。

（事前アンケート、事後アンケート、小テスト、チェックシートの人数分のコピー）

イ DVD または漫画は当日、小生が持参します。DVD デッキ・モニターの準備をお願いします。

(6) 本時効果測定について

本時の指導内容の理解度と心にもたらず効果を、小テストと事前事後のアンケートによって測定します。後日その結果を集計し、プリントにしてお知らせします。

(7) 事後学習について

本時内容の一層の理解を深めるため、今後の教育指導を宜しくお願い申し上げます。

ア いじめや差別について話し合い、それらを許さない態度を身につけさせる。

イ 他人の個性を認め、互いに強調しあいながら生活することの大切さを反復する。

ウ 自らの役割を果たすことの大切さや、自他の権利を尊重することの大切さを一層、理解させる。

以 上

（別紙）

「命の教育」～心肺蘇生法トレーニング（ミニアンコース）～指導展開

～1 時限目～

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	時間	指導上の留意点
導入	・ アンケート実施（3分）	・ 授業の流れの把握	5分	・ 授業を行う前の段

	<ul style="list-style-type: none"> 授業の流れの説明（2分） 			<ul style="list-style-type: none"> 階で意識調査を行う 配布資料の準備
展 開 ①	<ul style="list-style-type: none"> DVD『大切な命を助けるために～私たちに出来ること』を視聴させる（20分） 	<ul style="list-style-type: none"> DVDをみてメモをとる 蘇生できなかった場合とできた違いを考える 	20分	<ul style="list-style-type: none"> DVDに集中できるようにする。 ディスカッションできるようにメモを取ることを説明 何をメモするかを明確にしておく
展 開 ②	<ul style="list-style-type: none"> ディスカッションを行う（7分） 	<ul style="list-style-type: none"> グループを作る 良かった点と悪かった点を理解する みんなが学校、通学途中等で遭遇したら、どのような役割を行うか話合う。 発表する 	14分	<ul style="list-style-type: none"> 蘇生に繋がったポイントや重要な点を復習させながら行う 日常生活で遭遇している状況を設定し、より身近なものだということを伝える
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> 正しい心肺蘇生法の流れ 周りの人がどのように協力できるか 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい心肺蘇生法の理解 協力の仕方の理解 	6分	
～2時限目～				
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ミニアンの使い方を説明（1分） ミニアンを膨らませてもらおう（1分） 	<ul style="list-style-type: none"> ミニアンに驚く ミニアンに興味を持つ 	2分	<ul style="list-style-type: none"> 生徒がミニアンをしっかりと使えるか確認する －空気の入れ具合 －圧迫時クリック音が鳴るか －呼気吹き込み時胸部挙上するか ・生徒一人に対して1体持たせる
展 開 ①	<ul style="list-style-type: none"> BLS 実技トレーニング 	<ul style="list-style-type: none"> ミニアンを使って圧迫、人工呼吸をトレーニングする 	10分	<ul style="list-style-type: none"> DVD を使用して全員同時に行う
展 開 ②	<ul style="list-style-type: none"> AED トレーニング 	<ul style="list-style-type: none"> AED を使用してトレーニングする 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーAED を使用して実施、または 10人に1台程度の AED を用意する ・特に AED は危険事項

				等をしっかり指導
展 開 ③	・ 評価	・ 2人組になり、お互いの一連の流れをチェックしあう	15分	・ ミニアンは胸部クリック音で胸部圧迫の深さ・リズムを確認、AEDが正しく使用できることを確認
ま と め	・ 小テスト実施（5分） ・ アンケート実施（3分） ・ 本日のまとめ（2分）	・	10分	・ 小テスト、アンケートを準備しておく

以上